

低炭素型社会のための「ゼロエミッション」のサイクル図

「有機性廃棄物」を「炭化装置」で無害化、出来た「炭」を全て有効利用！

(1) 有機性廃棄物を収集・処理

- 業務用、産業用、家庭用ゴミ
(廃棄物の約 60%~65%が有機性ゴミ)
◇焼却処理では産業廃棄物の灰が発生、再生利用にはそれなりの設備が必要。埋め立て処理が一般的？
◇炭化処理で二次利用。

食物残渣系 家畜糞尿系、人糞(し尿) 汚泥系(下水道、湖沼、海)木質系、他 有機物なら何でも炭化処理可能です

* 自動低温炭化(最高500°Cまで)により、チッソ、リン酸、カリ、ミネラル豊富な炭化状態の良い「有機炭」が出来上がります。又装置をいためません。

出炭時間は15分から40分のスピードで順次出炭。
燃料使用量は従来の約1/3の省エネタイプ。
何日でも連続運転できます。

装置が小型のため、必要に応じて順次追加が可能。

私たちは
地球温暖化抑止のため2020年までに
CO2を25%削減します
化石燃料の使用を控えます
低炭素型社会をめざします
「ゼロエミッション」を実現します

(2) 炭化装置で廃棄ゴミを「還元炭」に 炭化装置の良し悪しは、

- 1) 有害ガスを確実に無害処理する事
 - 2) 良質で均一な、高エネルギーの還元炭(炭素率の高い墨炭)を作り出す事。それにより初めて効果の高い二次利用が可能になります。炭にも良し悪しがあります。
- * 通常ゴミを 1t 焼却処理すると、2.65t の CO2 が発生します。

(3) 炭化処理で出来た還元炭の二次利用

- (有効微生物を活性化)
◇農林業用土壌改良材: 収穫が上がり、味が良くなる、木が強く、よく育つ
◇畜産・漁業: 育ちが良くなる
◇腐らない完熟堆肥: ◇調湿・吸湿剤:
◇高エネルギーの燃料: 物によっては、7250kcal にもなる、ダイオキシン、CO2 や他の有害ガスの発生がない燃料になる。 その他 別紙参照

私の子どもの頃は

空はもっと青かった

星空はもっと輝いていた

自然は心のふる里!

(4) 環境に優しい還元炭が役目を終え自然と土に戻り、
有機物に吸収され、又、循環サイクルが始まる。